



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/>

令和7年8月③

住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp



◆尾根道の石仏

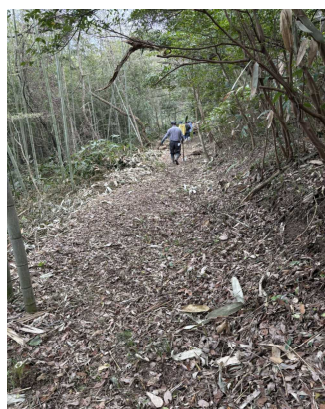
昭和40年ごろまでは、人の往来があったものの、今は使われなくなった山の尾根路があります。赤道と言われる公道です。

下の写真はその道の脇に祀られた馬頭観音とお地蔵様です。



右側は中央にお地蔵様が舟形の中に彫られています。さらにその両脇には、「寛政12年建立 右 せんげ寺 左 札所扁(へ)」と彫られ、道標も兼ねていたようです。寛政12年は西暦1800年です。

左側には馬頭観音と刻字されています。天保5年と建立年も彫られています。人の暮らしを支えてくれた牛馬の供養塔であったものと思います。天保5年は西暦1835年です。



道のすぐ右側が尾根(稜線)で、左側は斜面でその先に下って行く分かれ道があります。

この場所にたどり着くためだけに、毎年笹や竹を刈ってご供養してこられた地元の人から、いよいよ歳をとって上がれなくなったので閉眼供養をと依頼されました。



事前に整備された道を長靴をはいて登りました。尾根道から分かれる道も数本あり、車社会になる前はとても便利な通り道だったのだらうと感じました。



左下の写真でおわかりのように、この赤道は幅もある立派な街道筋であったかと思います。

長安寺から南に見える高い山の稜線にも、笹谷から阿用に向かう道がついていたそうです。笹谷から蓮花寺参りをする最短路です。もちろん途中から南北の集落に降りることが出来ます。

◆ご寄付(志納)感謝申し上げます

拝受したご志納について紹介します。宗教法人寄進台帳に記載し、仏具や法衣、伽藍充実などに使わせていただきます。ありがとうございました。

